

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	有限会社めぐみ	代表者	坂本慎吾	法人・事業所の特徴	利用者個別の状況に応じ、通所、訪問、宿泊を組み合わせた柔軟な支援を行っている。 自宅を改造し、地域の中で家庭的な雰囲気支援を行っている。 利用者だけでなく、地域の方々にも気軽に相談できる場所として運営を行っている。
事業所名	小規模多機能型居宅介護めぐみ	管理者	大森裕志		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	<p>① 再度新規契約の方は、契約 1 か月以内の支援時の様子を写真に撮り、家族に渡すことを目標とする。</p> <p>② 興味関心チェックシートに代わる利用者の希望を確認するシートを利用し担当者を中心に情報を収集し支援に活用する。</p> <p>③ 新たに興味関心シートを設定し活用。そこで知りえた情報をフェースシートに記入し利用者の情報を収集する。</p> <p>④ 独居等で地区の方の支援が必要な場合は民生委員など地区の方と相談する</p> <p>⑤ 現在でも柔軟な支援を行って</p>	<p>① 新規契約者にはレクレーションの様子や表情のいい時に写真を取り家族に渡している。</p> <p>② その時々希望については各人確認し申し送りなどはできていたが、共有する為のツールは作れなかった。</p> <p>③ 新たなシートを作成することはできなかったが、一部利用者のみではあるが、フェースシートに記入することはできた。</p> <p>④ ・地元の利用者が多く、交流もあり民生委員などの相談や連絡など行っている。 ・運営推進介護で民生委員、見守りボランティア、老人会、警察官、中学校校長など多様な方と地区の情報・事業所の現状、利用者の状況など情報交換を行っている。</p> <p>⑤ 急な「通い」「宿泊」「訪問」の</p>	<p>・スタッフ全員が共通理解をして取り組むことができているととても良いと思います。 ・継続して無理なく取り組めるないようになっているのがよいと思います。 ・スタッフ間のコミュニケーションが大事だと思います。 ・以前に比べ、改善計画に積極的に取り組み改善されてきたと思います。</p>	<p>① 利用開始初期の写真を家族に渡すことによって、利用開始初期の不安軽減に努める</p> <p>② 本人の趣味や興味など知りえたことはフェースシート、申し送りなどで共有する</p> <p>③ 知りえた情報は共有する為にフェースシートに記入していく</p> <p>④ 推進会議で培ってきた地域との関係を維持する</p> <p>⑤ 柔軟な支援は十分行えている</p>

	<p>いる。継続していく。</p> <p>⑥ 地域から研修・会議参加依頼があった時は積極的に参加する</p> <p>⑦ 運営推進会議への職員の参加は継続し議事録を家族や推進委員に配布する。</p> <p>⑧ 職員会内で研修報告のない人は1人5～10分程度の自己研修発表を行う。</p> <p>⑨ 利用者の行動を制止する際は離れたところから行わず近くに寄ってから行う。</p>	<p>希望にも十分対応できている。</p> <p>⑥ ・会議、研修など積極的に参加している。 ・家庭の事情、コロナ禍の影響で全員が参加することはできなかった。</p> <p>⑦ 勤務の配置、事業所の状況で職員が推進会議に参加できないこともあったが、概ね参加できている。配布についてはコロナ禍で中止になるまでは行っていた。</p> <p>⑧ コロナ禍による研修中止が重なったこともあり職員会で自己研修会を行っている。テーマを決めて職員会で新聞記事の紹介をする等研修の替わりとなるよう取り組んだ。 ・コロナ対策として感染予防についてはなしあうことができた。</p> <p>⑨ 意識した結果、減ってはいるがやはりまだ散見される。 ・制止しなければいけない場面に遭遇した場合、動くより声が出てしまうことが多い。</p>		<p>のでこれを継続する</p> <p>⑥ 引き続き、研修に積極的に参加していく</p> <p>⑦ 多様な方が参加し意見を交わす現在の推進会議の形態を維持していく</p> <p>⑧ 職員会内の自己研修会を継続する</p> <p>⑨ 業務上の職員間の情報交換は利用者の傍で行わぬようにする</p>
<p>B. 事業所の しつらえ・環境</p>	<p>・めぐみまでの案内図を駐車場の看板に掲示する。 ・公式ブログに地図を掲載する。</p>	<p>・駐車場に案内図を設置 ・ブログについては仕様として画像が貼れず断念</p>	<p>・案内図を掲示されてよかったと思う ・コロナ禍では事業所に見学にも行けないのでわからない。 ・コロナ対策での環境整備、消毒、清掃等について配慮されていると思います。前回配布した案内を</p>	<p>・コロナ禍が落ち着くまでは消毒、検温など徹底し感染予防に努める。</p>

			<p>再度配布してはどうでしょうか？</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍の中、外部の人間の出入りに気を遣われることと思いますが、できる範囲で取り組んでいくしかないと思います。 ・公民館等、人の往来がある場所にも案内図を掲示してもらってはどうか。細い道に入る前に矢印などがあると分かりやすいと思う。 	
C. 事業所と地域のかかわり	<ul style="list-style-type: none"> ・真網代地区での周知を図る。その為にJAに配布物など置いてもらえるよう依頼する 	<p>JA に依頼行うが、他事業所の案内を置くことは困難との返答にて実施できず。ただ令和2年真網代、小網代の利用者が口コミにより利用につながった事例あり)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・事業所がこの地域にあることはとても有難いと思っています。職員の方もよくお世話されていると思います。 ・高齢になって、一人暮らしをされている方にとってこういう事業所があるのはとても心強く暮らせると思います。 ・スタッフの方は気持ちよく対応していただいている。 ・今家の中で過ごす高齢者が多く、孤立している方がいるのではないか。社協との関わりもあるが事業所として定期的に談話する機会があってもいいと思う。 ・周知に尽力されていることがよくわかりました。 ・(有)めぐみを立ち上げて10年以上になるので真穴地区については知らない人はほとんどいないと思う。 ・真網代診療所、川上診療所に働きかけをしてはどうか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地区社協と独居で暮らす方々について話し合う機会を作る

<p>D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・真網代地区での周知を図る。その為にJAに配布物など置いてもらえるよう依頼する 	<p>JA に依頼行うが、他事業所の案内を置くことは困難との返答にて実施できず。ただ令和2年真網代、小網代の利用者がロコミにより利用につながった事例あり)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・学校においても交流ができればいいのですがコロナ禍の中、自粛せざるを言えない状況です。 ・新型コロナウイルス感染拡大の収束が見通せない状況は当面続くと思うので、地域行事やイベントなどの参加は難しいと思います。 ・どのように地域の心配な方に関わっているか教えてほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地区社協、民生委員等と地域の方について情報交換行う機会を持つ
<p>E. 運営推進会議を活かした取組み</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・事業所からの報告だけに留まらず、地区の中で心配な方などが話題になる現在の形を維持していく。 	<p>多様な立場の方に参加していただき、地区の方について情報交換行っていく形を維持している</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・会議ではいつも丁寧に説明をしていただき、活動の様子がよくわかります。 ・積極的に取り組んでいると思います。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の中で心配な方やその時々懸念事項などについて意見を交わせる現在の形を維持していく。 ・コロナ禍が落ち着いたら従来通りの会を持つ
<p>F. 事業所の防災・災害対策</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・穴井地区の利用者名簿を消防団に渡し、誰が何曜日に自宅にいるのか周知する 	<p>実施に至らず</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・区の防災訓練の際、職員の方が利用者の方を車いすで避難されているが、普段の訓練から近所の方、民生委員や消防団の誰もが「めぐみ」を意識して行動するように介助行動の訓練もあればと思います。 ・事業所の防災避難について家族としてお任せになっている。大変さや様子を知る上でも見学の機会があってもいいと思う。 ・自主防災会との連携・協働はどの組織においても重要になると思います。 ・災害はいつ起こるかわかりません。地域の防災訓練も積極的に参加していると思うが、年に何度か事業所だけの訓練も必要だと思います。 ・災害などで避難が必要になった場合に利用者一人一人どのような支援が必要か具体的に想定さ 	<ul style="list-style-type: none"> ・事業所の防災訓練を定期的に実施する ・自主防災会と話し合う機会を持つ

			れているのか。消防団に名簿を渡す際、誰にどのような支援が必要か合わせて伝えてはどうか。	
			(自由意見) ・コロナ対策でスタッフ一同頑張っておられ、これからも私たちが気を付けていきたい	

